

みやざき茶の概要について

令和5年5月
農産園芸課

1. みやざき茶の特徴

- ・本県では沿海部は煎茶、中山間地域では釜炒り茶が中心に生産されている。
- ・煎茶は平坦な茶園を中心に生産されており、乗用型管理機の導入等により大規模経営が展開されている。(面積784ha)
- ・釜炒り茶は、全国一の生産量を誇り、全国茶品評会で常に上位入賞を果たすなど、全国有数の産地となっている。(面積122ha)
- ・近年では、輸出向け有機栽培茶の生産拡大や、茶業支場で技術開発された烏龍茶や和紅茶など特徴ある茶の産地化を推進している。

2. みやざき茶生産実績の推移

- ・本県は、生産量（R4）が全国第4位の茶主産県である。
（1位：静岡県、2位：鹿児島県、3位：三重県）
- ・農家戸数、栽培面積、荒茶生産量は年々減少。

項目	H30	R1	R2	R3	R4
農家戸数(戸)	567	544	494	451	435
栽培面積(ha)	1,390	1,380	1,330	1,270	1,230
荒茶生産量(t)	3,800	3,510	3,060	3,050	3,000

(出典：農家戸数；農産園芸課調査、栽培面積・生産量；国農林水産統計)

3. 令和5年産の茶の生育や入札状況

- ・令和5年産の一番茶は県内全域で平年並みとなっている。
- ・4月12日に本年産のみやざき茶の初入札会が開催された。
- ・初入札では新茶らしい香気、深みのある味に優れる良質な茶が取引された。

【初入札結果（4/12）】

平均単価（本茶）	3,519円/kg	（前年 4,924円：前年比71%）
最高値	22,227円/kg	（前年21,888円：前年比102%）

【釜炒り茶初入札会結果（5/8）】

平均単価（本茶）	4,308円/kg	（前年 4,036円：前年比107%）
最高値	23,000円/kg	（前年11,111円：前年比207%）